

家庭学習の手引き 中学生版

小学校のときに比べて、学習の進度や授業内容が大きく変わり、予習や復習をする、しないによって内容の理解度や定着に差ができてしまうのが中学生です。

中学校卒業後の進路についても、ある程度目標を定めて、中学1年生のうちからこつこつと努力することが大切です。

- ・ 学校で出された課題を先に仕上げます。
- ・ 指定された期日までに提出しましょう。
- ・ 中学校では定期テストがありますから、テスト期間にあわてなくてもすむように、自分で計画性を持って毎日ワークブックや各教科の課題をすすめていきましょう。

復習

- ・ その日の授業で学んだことを振り返る。
- ・ 授業で使ったプリントなどはなくさないように、整理して活用する。
- ・ 教科書やノート・資料を見ながらもう一度学習内容を確認する。
- ・ 習った漢字や単語を書く練習をする。
- ・ 語句の意味調べや短文作りをする。
- ・ 公式を使って問題を解いてみる。
- ・ 教科で使う用語の意味を確かめる。
- ・ 学校でやった問題をもう一度する
- ・ ワークやドリルで似た問題を解くなど練習問題に取り組む。
- ・ 一度覚えたつもりでも時間がたてば忘れてしまうことも多いので、油断せず繰り返し学習する。
- ・ 授業や家庭学習で問題を解くだけでなく、誰かに説明できるようにする。
- ・ 教科によって学習の偏りができないように、苦手なところにも挑戦する。



予習

- ・ これから授業で習うところの内容を確認する。
- ・ 漢字の読み方や英単語、語句の意味調べをしておく。
- ・ 学習箇所を声に出して読むことは効果的です。

他にも・・・

- ・ 新聞の社説や記事を読んで内容をつかんだり、自分の考えを含めてまとめたりする。
- ・ 幅広い分野の本を読む。
- ・ 考えをまとめ、表現する力をつけるために、毎日、日記や短い作文を書く。
- ・ 小テストや定期テストでできなかった問題は、そのままにせず、必ずやり直す。

学習を終えたら

- ・ 次の授業で忘れ物をしないよう、授業で使う教科書やノートはもちろん資料集やワークブックなど教科ごとにまとめて片付ける。
- ・ 次の日の準備をして、忘れ物がないか確認する。
- ・ 中学校には、学校から配信されるシラバス（教科ごとの授業計画）がありますから、それにしたがって学習内容を確認めたり、家庭学習で取り組む内容を決めたりするとよいでしょう。

